

平成29年8月9日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標題 「新規就農者がドンドン育つ就農の里づくり・・・のために」
益田・鹿足郡農業士会交流研修会開催

(ダイジェスト)

7月25日、益田市と鹿足郡の農業士会で交流研修会を開催しました。
今回は、地元の新規就農者2名の各農場を視察した後、就農に至る体験報告と「新規就農者がドンドン育つ就農の里」とするアイデアを語り、農業士と意見交換したところ活発な研修会となりました。

1 日程等

- 「新規就農者を巡るバスツアー研修(13:30～15:50)」
※市内集合場所から出発。津和野町と益田市の新規就農者2名の農場各20分視察
- 「新規農業士認定証書授与式(15:55～16:00)」
- 「新規就農者がドンドン育つ就農の里づくり研修(16:00～17:00)」
※視察した新規就農者の体験・意見発表、パネルディスカッション
- 各農業士会総会、新規就農者を交えて懇親会(17:00～)

2 状況等

○視察と意見発表の新規就農者2名は園芸及び畜産。参加者からは、「自分たちが、コツコツと40年積み上げたことを一度にやるから厳しい(60歳代農業士談)」と、率直な意見が聞かれました。
○新規就農者から、「次世代交付金が無くなった時が心配(40歳代男性)」、「小学生の頃、近所に牛を一頭飼っているおじいさんがいて、その牛が可愛くて『いつか牛飼いになろう』と思った(同女性)」など、就農の動機や農業経営の厳しさ等が語られました。
また、新規就農者から「本気の就農志向者に支援を集中してほしい」という意見と農業士から「各集落に毎年1人新規就農がほしいが足りない」との意見もありました。
○農業士からは、「敢えて作業着ではなくカジュアルな服を着てトラクターに乗ったり大型バイクに乗ったり、若い人が見て『農業は楽しそう』と思われるよう実践している。」、「自分の牧場で体験した子供たちの中に、牧場勤務や獣医師を目指す青年が多数誕生するなど子どもの頃の体験も重要。」など多くの意見が出され、農業士、新規就農者双方に認識が深まりました。

3 その他

管内の農業士会では、今年度あわせて12名の新規会員が誕生したこともあり、役員の新体制の下、いっそうの活性化が期待されています。



新規就農者の農場視察「バスツアー研修」



体験・意見を語る新規就農者